



上質なインテリアを演出する造作材

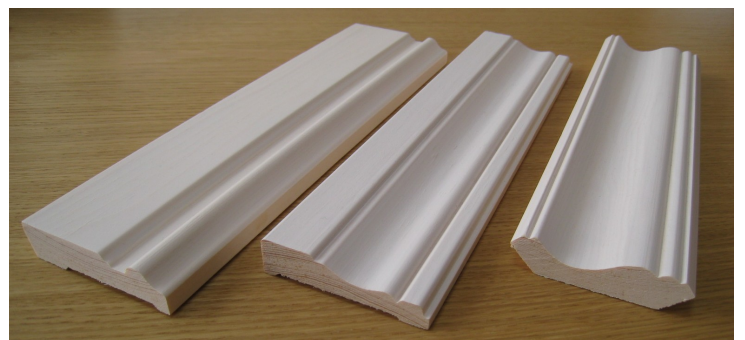
巾木や額縁(ケーシング)、廻縁、パネル、窓台などの造作材は、豊かな空間を演出するのに欠かせない建材です。スウェーデンで最もよく使われるのは、パイン材です。パイン材はやわらかい材質のため加工しやすく、長く使い続けるほどにその味わいが出てきます。様々な塗装仕上げとの相性も抜群です。造作材の作り込みが空間のデザインに与える影響は大きく、造作材のその独特の形状に、日射や照明が当たることによって陰影が現れ、時を刻むごとに変化します。



建材同士をつなぐリスト

巾木、額縁、廻縁といったリストは、同じ空間で使われる異なる建材同士をつなぐ大切な役割をもっています。巾木は壁とフローリングとを、額縁は壁と窓やドアとを、廻縁は壁と天井とをつないでいます。それぞれのリストによって空間が一体化され、建材の質感が一層際立ってきます。

巾木: 14x65mm
 額縁: 16x61mm
 廻縁: 16x65mm

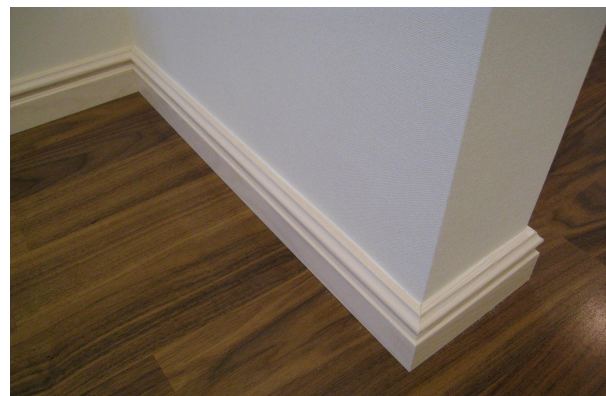


巾木 / 額縁 / 廻縁



面に変化を与えるパネル

平らで単調な天井も、パネルを使うことで空間の印象は大きく変わります。パネルの使い方は自由で、天井に使用すれば天井パネル、壁一面に使用すれば壁パネルと呼ばれます。壁の下部のみ使うこともあります。ちょうど腰の辺りまでパネルを使うことから、これは腰パネルと呼ばれます。



窓周りを演出する窓台

スウェーデンの住宅は、外壁の厚みが30cm以上にもなり、窓周りに10cm～20cm程度の奥行きができるので、窓台を設置しています。この空間に小物や雑貨、植物をコーディネートし、照明でライトアップします。窓台は、窓周りの演出に欠かせない造作材です。

